

どのした淵

【町道・農道払いの実施】

9月の年間行事である、町道・農道草払を、19日(日)に実施いたします。8時に公民館に集合してください。頼みの原則に基づき欠席される方は、班長を通じて申し出てください。

5班は早朝6時より実施することです。ご苦勞様です。互助の精神で加勢できる方はご協力ください。

御多分に漏れず高峯も高齢化が進行しており、労力の低下は否めないところであります。つきましては、世帯代表でないシニアグループ・ヤングアダルトグループ・マダムグループの皆様の積極的な御協力に期待いたします。

なお、グラウンドゴルフ及び懇親会は中止いたします。

【区集会所除草・清掃の当番】

10月10日(日)当番順により区集会所の除草清掃作業に従事していただきます。15人で概ね1時間程度作業して戴きたいと思います。

要員については、放送でお知らせしますので、都合が悪い方はお知らせください。この当番についても年度末精算をします。年度末までに順番が回ってきたが出役できなかった場合は、過怠料(1,000円)対象になります。ご理解ください。

【看板設置 Part 2】

発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

☎ 54-2344

090-1089-9432

9月1日発行



永く雨が降って、藪払いもできなかったので、車庫にこもって、「三腰野と現王様の腰掛石」「椿峠」の紹介看板をあらかした作って、椿峠分を設置しました。

現王様の腰掛石は、副会長(三腰栄治さん)宅地内にあるのですが、結構な大きさと重機がないと移設出来そうにないので、チョット工面をしてから設置したいと思います。



【段ボールコンポスト堆肥の副産物】



わが家では、生ごみを段ボールコンポストでたい肥化し、花壇に播いています。すると、何と言う事でしょう。堆肥化されなかった種から、スイカ・かぼちゃ・トマトが発芽・成長し実を付けました。口にしたのは解りませんが、生物の生命力を逞しく思うばかりか、愛おしささえ感じます。

町では3年位前から、生ごみを可燃ごみとして燃やすのではなく、分別収集し堆肥化することになっています。未だに可燃ごみとして出している家庭は無いとは思いますが、生ごみ回収バケツの中を覗き見ますと、然程の生ごみは入っていません。皆さんそれぞれ工夫をして処理されているのでしょう。

地球温暖化防止・持続可能な社会構築のための方策の一つとして、少しでも焼却物を減らし、限りなくリサイクルすることが、地球上の生命体としての人間の務めではないでしょうか。『出来る事を出来る時に出来る人が』出来ることからコツコツと!!!

近年の予期せぬ災害も地球温暖化の副産物なのかもしれません。被害を嘆く前に、災害を起こさないために日ごろから自分が出る工夫と対策を怠らないことが、大切ではないでしょうか。

【9月20日は敬老の日】

敬老の日は、日本の国民の祝日の1つである。日付は9月の第3月曜日。2002年（平成14年）までは毎年9月15日を敬老の日としていたが、2003年（平成15年）から現行の規定となっている。国民の祝日に関する法律第2条によれば、『多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う』ことを趣旨としている。

始まりは、兵庫県多可郡野間谷村（後に八千代町を経て現在の多可町八千代区）、1947年（昭和22年）9月15日に村主催の「敬老会」を開催したのが「敬老の日」の始まりとされる。野間谷村の村長であった門脇政夫が「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」という趣旨から開いたもので9月15日という日取りは、農閑期にあたり気候も良い9月中旬ということで決められた。昭和22年当時は戦後の混乱期に当たり、子供を戦場へと送った親たちも多く、精神的に疲労の極みにあった。門脇は、そうした親らに報いるべく「養老の滝」の伝説にちなみ、9月15日を「としよりの日」とし、55歳以上の人を対象に敬老会を開催した。【ウィキペディアより】

高度成長とともに栄養価もよくなり、長寿化が進むとともに高齢化も進行しています。国連の世界保健機関（WHO）では、65歳以上の人を高齢者としています。

住民基本台帳に基づく高峯の高齢者は8月1日現在38人で、高齢化率は46.9%となっています。人生100年の時代と言われてきました。高齢者の知恵は地域の宝です。ますます元気にお励みください。

「志氣に老少なし」佐藤一斎・言志四録二三四条

敬老の日おめでとございます

【ふるさとの史跡散歩・高峯編】

⑦ 高峯（たかね）

現王様が鷹を放して狩りをされた所。

⑧ はらひい

高峯の人々がかくれ念仏をしていた所。嘘をついて（はらをひつて）役人をごまかした場所。

⑨ 狸岩（だめきゅわ）

狸の生息（すまい）に適した岩がある所。

⑩ こびら（小平・金毘羅）

高峯集落の川向いにあたり、金毘羅さんの堂跡ともいわれます。

⑪ 新右衛門茶屋跡（しんにょんぢやあつと）

高峯公民館の隣。昭和の初めまで駄菓子や日用雑貨の販売、からいも飴やとうふ造りをされ、みそ汁等も出されていたので、当時の荷馬車引きの人々の昼食場所となっていました。（今のドライブインの役割）終戦後、郵便局に勤められた大平武義さんの生家でした。

⑫ 太鼓橋（たいこばし）

通称、サコダンタイ（迫田の谷）にかかっている石造りの橋。久木野の大正橋と同じころ（大正年間）、当時の最高技術で建設されたものと思われまふ。今は旧道になっています。

⑬ 大山祇神社（おおやまつみじんじや）

祭神大山祇命（さいじんおおやまつみのみこと）。天文三年（1534年）高峯門代左衛門勧請（おまねき）と伝わっている。

編集後記

「田の神やうのつむい」

いつになったらこのコロナってやつは終息するのやら。増えては減り、減っては増えまったく先が見通せません。皆さんワクチン接種終わりましたか？

先日農業共済組合に用事があつて行ったら、女性職員が、「お客さんでワクチンを2回打ったからと言って、マスクをしなくて来る高齢者の方が増えた」とおっしゃっていました。もつてのほかです。なぜならワクチンを2回打ったからといって、感染・重症化のリスクは多少減りますが、感染しないという保証はどこにも無いからです。自分で出来る感染予防対策は、不要不急の外出を控え、手洗い・マスク着用・消毒の徹底につきます。

コロナ禍でオリンピック・パラリンピックも無観客で行われ、夏の甲子園高校野球も、関係者のみの入場に制限がなされました。球児にしてみれば満員の観衆の中で、はつらつプレイを観てもらいたかったでしょうけど、昨年の中止からすると、試合ができただけでも幸せなのかもしれません。鹿児島代表の樟南高校のエース西田君は善妙寺の御息で、応援にも力が入りました。コロナはまだまだ終息しそうにないのに、皆さんくれぐれもご自愛くださいませ。

高峯公民会